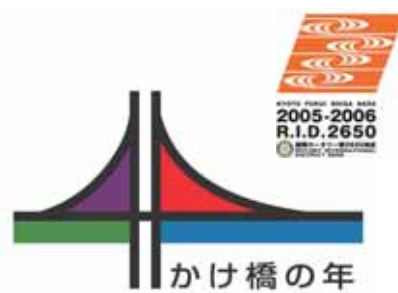




Handwritten signature: Kenji Tanaka

今週のプログラム  
第1352回 平成17年9月28日(水)  
大久保 昇ガバナー 公式訪問



今日のローターソング  
「奉仕の理想」

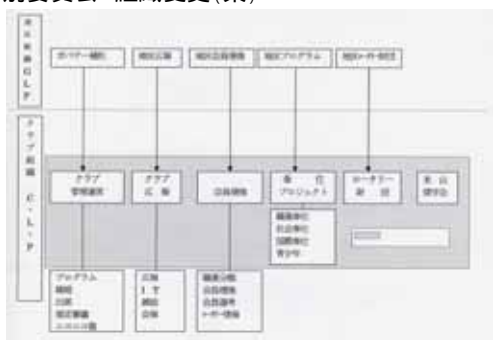


会長挨拶

過ごしやすい季節になりました。暑い夏が過ぎて疲れが出るものこの頃です。会員の皆様におかれましては健康に十分気をつけてお過ごし下さい。

次週はガバナーの公式訪問です。全員の出席をお願い致します。お手許に地区・クラブの組織変更の案内があると思いますが、GLP・CLP の内容が表記されています。特別検討委員会にて検討して、図のようにしてはどうだろうかとの案です。理事構成を再度委員会にて考えています。詳しい事がわかり次第、随時報告させていただきます。

CLP 検討特別委員会 組織変更(案)



幹事報告 【 来信 】

千玄室RI元理事様より

日本・国連親善大使に任命される。

9月5日付にて外務大臣より日本・国連親善大使の任命をされました。

世界の、日本の平和の為「一皿からピースフルネスを」の実現に努めます。

全日本RYLA大会「報告書」が来ています。

訃報 山下健治会員のご尊父様ご逝去されました。

お通夜、ご葬儀に会長はじめ会員の方が参列されました。

謹んで哀悼の意を表したいと思います。

10月 1日(土) IM小浜大会です。出席される方は8時JA前集合です。

10月18日(火) 山中RCとの合同夜間例会です。

出欠の返事が未だの方は至急お知らせ下さい。

第1351回例会 委員会報告 (9月21日現在)  
出席委員会

9/21 出席状況 出席 30名 会員数 39名

ローターリー財団特別寄付(個人寄付)・・・(ABC順・敬称略)

(本日計3件、計6,000円・本年度累計80,000円)  
年次寄付 目標達成 本日1件・・・合計 17名  
強化サック 本日2,600円 累計23,700円

下田・・・財団・米山をよろしく願います。

米山記念奨学会(個人寄付)・・・(ABC順・敬称略)

(本日計7件、計11,000円・本年度累計97,000円)

ニコニコ箱・・・(ABC順・敬称略)

橋本・・・欠席が続きますみません。

林田(恒)・・・申し訳ありませんが所用の為、早退させていただきます。

前川・・・公式訪問全員出席をお願いします。

奥村・・・なんとなく。

下田・・・連休に郡上八幡に行つて、山内一豊と妻の銅像を見てきました。

高本・・・友情に感謝して。月一回は米山にもご協力下さい。願います。

高嶋・・・前川会長、株が上がりました。ありがとうございます。

竹澤・・・株価が新高値にきましたので。

山田・・・ある事が無事にすんで。

山下・・・里丸岡で小さな分譲地の造成を始めました。よろしく。

本日の合計	本日迄の累計	前年度との比較
20,000円	484,000円	496,000円

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
福井東 福井厚生年金 敦賀西 サンビア敦賀 PM:7:00 開始 PM6:00 開始	福井南 織協ビル 8F 勝山 市民活動センター 武生 武生商工会館 若狭 小浜商工会議所 福井エッセイ	福井北 ワシントンホテル 敦賀 北陸銀行敦賀支店 鯖江北 神明公民館 丸岡 JA花咲く丸岡支店	福井 ユアースホテル 武生府中 JA越前たけふ	福井西 クラントリア 三国 三国観光ホテル 大野 リブレ 4F 鯖江 鯖江商工会館 あじさい 川-ジュアホノ

# ロータリー米山記念奨学会 表彰式

下田重道会員 第9回米山功労者マルチプル



前田 章会員 第2回米山功労者マルチプル



## 米山奨学事業の基礎知識

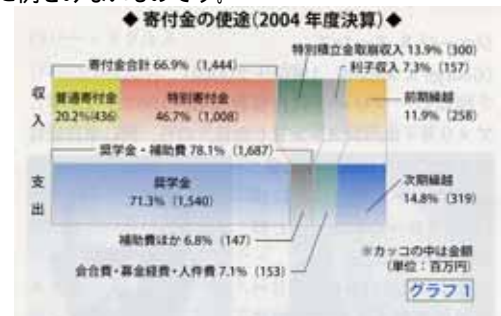
ロータリーの友9月号

### 日本最大の民間奨学団体としての誇り

日本における財団の2003年度、年間助成額では、ロータリー米山奨学会が17億円余で第3位。民間主導型財団の中での助成額では第1位です。これまでに世界104か国1万2,706人の外国人留学生支援(2005年5月現在)しており、事業の規模、採用数ともに民間最大の奨学団体です。

2004年度文科省の私費外国人留学生等への援助予算は112億2,600万円、米山奨学会の同年度年間助成額は15億4,000万円、国家予算の1割以上の規模を誇ります。

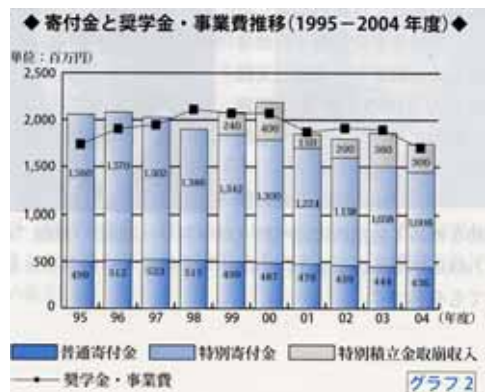
しかも助成団体の多くは企業団体であったり助成事業以外の事業による運用収入で年間事業を賄っています。米山奨学会のように、全国ロータリアンからの“浄財”だけで運営し、助成事業だけで行っている団体は他に例をみないものです。



### 寄付額に見合った支援へ

年間20億円に達していた寄付金も、1996年度をピークに下降。2004年度の寄付金収入合計は14億4,350万円で、前年度から約5,800万円減少しました。これは16年前の1989年とほぼ同じ実績です。

これまでは、特別積立金を取り崩して不足分に充てながら、一人当たり月15万円(大学院生の場合)、年間1,000人という、優秀かつ多数の支援を維持してきましたが、取崩額は16億5,000万円に上り、残高はピーク時の6割になりました。そのため今年4月の採用からは採用数・奨学金額ともに縮減。さらに今年度は特別積立金の取り崩しを行わないことを決定しました。今後は、寄付金収入に見合った規模とし、より一層質にこだわった支援を目指します。



**次週プログラム** 10月5日(水)  
 職場訪問 (職業奉仕・社会奉仕合同)  
 環境問題研修会  
 福井坂井地区広域町村圏清掃センター  
 11:15 現地集合